

船舶事故等調査報告書

平成25年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故等番号 | 2012横第163号 |
| 事故等種類 | 乗揚（海苔養殖施設） |
| 発生日時 | 平成24年9月9日（日） 16時30分ごろ |
| 発生場所 | 千葉県木更津市盤洲鼻西方沖 木更津市所在の木更津港防波堤西灯台から真方位009°3,050m付近 （概位 北緯35°24.2′ 東経139°52.0′） |
| 事故等調査の経過 | 平成24年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | モーターボート ^{バディ} Buddy、5トン未満（長さ7.16m） |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 270-36338千葉、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 本船 プロペラ曲損 海苔養殖施設 固定杭2本流出、浮玉1個損傷、ロープ220m損傷 |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか1人が乗船し、盤洲鼻西方沖の海苔養殖施設の近くに錨を投入して釣りを行ったのち、帰航のために揚錨作業中、平成24年9月9日16時30分ごろ木更津市金田沖の海苔養殖施設に乗り揚げて絡網した。 本船は、木更津海上保安署の救助艇及び金田救難所の救助艇に救助され、マリーナのボートにえい航されて定係地に帰航した。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期 |
| その他の事項 | 船長は、盤洲鼻沖の航行経験が約10回あり、海苔養殖施設が設置されていることを知っていた。 船長は、海苔養殖施設の黄色標識浮標から約100m離れて投錨したが、揚錨に時間が掛かり、その間に風に圧流されて海苔養殖施設に乗り揚げたと思った。 |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | あり |
| 船体・機関等の関与 | なし |
| 気象・海象の関与 | なし |
| 判明した事項の解析 | 本船は、木更津市金田沖において、海苔養殖施設の付近で揚錨作業中、風に圧流されたことから、海苔養殖施設に乗り揚げたものと考えられる。 |

| | |
|-----------|---|
| 原因 | 本事故は、本船が、木更津市金田沖において、海苔養殖施設の付近で揚錨作業中、風に圧流されたため、海苔養殖施設に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・海苔養殖施設の付近では錨泊しないこと。 |